

# ライフサイエンス関連バイオベンチャー発表会 at 日本橋

経済産業省 関東経済産業局では、ライフサイエンス関連バイオベンチャーと事業会社・アカデミア・他のベンチャー企業・投資機関等とのマッチング促進などによる事業推進支援を通して、バイオ領域の産業競争力の一層の強化を図るべく、本支援事業を実施しています。

この事業の一環として本発表会を開催し、支援ベンチャー各社によるプレゼンテーション(ピッチ)と、公的機関助成制度の紹介を行います。さらに、ベンチャーへの独自取組・検討をされている4名の方々をお招きし、特別講演セッションも設けました。この会が、本事業の支援ベンチャーと皆様方との交流の場になると共に、国内バイオベンチャーの活動へのご理解を一層深める場になりますことを願っております。

日時: 平成30年1月30日(火) 9:30~18:00 (受付開始: 9:00-、 交流会18:10~19:30)

会場: 日本橋ライフサイエンスビルディング 2F大会議室 (定員:150名)

東京都中央区日本橋本町2-3-11 <https://www.nihonbashi-lifescience.jp/#>

参加費: 無料 (交流会のみ1000円)

参加対象: 製薬・バイオ関連メーカー、 バイオ関連団体、 バイオベンチャー、 金融・投資機関、  
アカデミア(大学・研究機関・TLO等)、 自治体、 産業支援機関

主催: 経済産業省 関東経済産業局

協賛: 一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

事務局: 一般財団法人バイオインダストリー協会 (JBA)

## プログラム

### ◆ 挨拶・趣旨説明 (9:30-9:45)

・経済産業省 関東経済産業局 地域経済部

### ◆ 講演セッション: ベンチャー関連 各機関のH30年度支援施策/公的助成プログラムの紹介 (9:45-11:10)

- ・国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 起業支援室
- ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 産学連携部
- ・厚生労働省 医政局 経済課 ベンチャー等支援戦略室
- ・独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO) サービス産業部
- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部
- ・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) イノベーション推進部

### ◆ 支援バイオベンチャー プレゼンテーション 1 (11:10-12:35) 各発表12分

登壇ベンチャー (6社): 株式会社Rhelixa、 株式会社Epigeneron、 株式会社キャンパス、 株式会社バイオセレンタック、  
株式会社SEEDSUPPLY、 株式会社セツロテック

休憩 (12:35-13:35)

### ◆ 特別講演セッション 1 (13:35-14:35)

- ・栗原 哲也 氏 (バイエル薬品株式会社 オープンイノベーションセンター アライアンスマネジャー)  
バイエルのベンチャー支援策 ~スタートアップエコシステムの改善に向けて企業ができること~
- ・瀬尾 亨 氏 (Pfizer Inc. ワールドワイドR&D External Science&Innovation ジャパン統括部長)  
ファイザーが見るバイオテックベンチャーへの期待と展望  
~破壊的イノベーションから構築的イノベーションへの移行~

### ◆ 支援バイオベンチャー プレゼンテーション 2 (14:35-15:45) 各発表12分

登壇ベンチャー (5社): 株式会社Epsilon Molecular Engineering、 エルピクセル株式会社、 エディットフォース株式会社、  
アメリエフ株式会社、 グライコバイオマーカー・リーディング・イノベーション株式会社

休憩 (15:45-16:00)

### ◆ 支援バイオベンチャー プレゼンテーション 3 (16:00-16:55) 各発表12分

登壇ベンチャー (4社): ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社/HMTバイオメディカル株式会社、  
株式会社オーダーメイドメディカルリサーチ、 株式会社ライトニックス、 サスメド株式会社

### ◆ 特別講演セッション 2 (16:55-17:55)

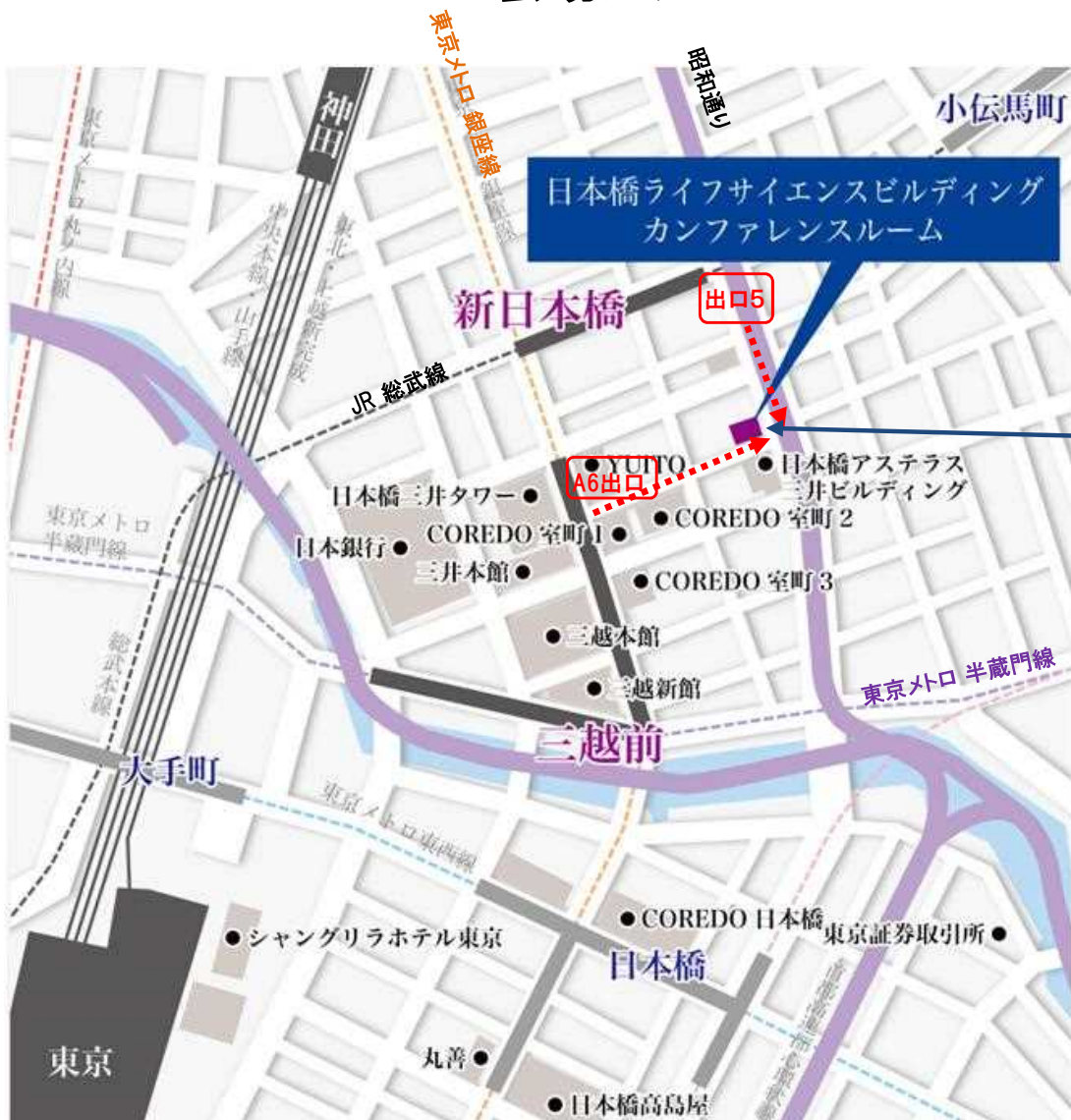
- ・下司 剛生 氏 (経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課 総括補佐)  
「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き」について
- ・宮田 満 氏 (株式会社宮田総研 代表取締役/株式会社日経BP 特命編集委員)  
何故、バイオベンチャーが日本に必要なのか?

### ◆ 閉会の挨拶 (17:55-18:00)

・一般財団法人バイオインダストリー協会 (JBA)

交流会 (10Fラウンジ 18:10-19:30)

## 会場アクセス



正面玄関は、  
昭和通沿い側  
(正面玄関ロビーを  
入ってすぐの階段から  
2Fにお上がりください)

- 東京メトロ 半蔵門線/銀座線「三越前」駅 A6出口より、徒歩3分
- JR総武本線「新日本橋」駅 出口5より、徒歩2分
- JR「神田」駅 南口より、徒歩11分
- JR「東京」駅 日本橋口より、徒歩13分

ご参加申し込み: 下記サイトのお申し込みフォームで、必要事項をご記入ください。  
[https://www.jba.or.jp/jba/seminar/se\\_03/at.php](https://www.jba.or.jp/jba/seminar/se_03/at.php)

お申し込み締め切り: 平成30年1月26日(金) 12:00

お問い合わせ先: 一財)バイオインダストリー協会(JBA <http://www.jba.or.jp>) 高倉、鈴木  
E-mail: cl-bv@jba.or.jp TEL:03-5541-2731 (代表)

# プレゼンテーション登壇企業の紹介

## プレゼンテーション1

<p><b>株式会社Rhelixa</b></p> <p><a href="http://rhelixa.com/jp/">http://rhelixa.com/jp/</a></p>	<p>Rhelixaは、ヒトや動物(主にペット)のヘルスケアにおいては遺伝的な体質から病気の進行具合まで、農林水産業においては土壌や水、生産物の発育の管理や最適化等をコアコンピタンスであるエピゲノム解析技術を応用し、それらを実現するための実験デザインから製品・論文化までを一貫して行っています。</p> <p>また、ゲノム・エピゲノム情報に基づく独自の検査技術を開発し、あらゆる人が簡単に生命情報を活用するための統合解析プラットフォームを創出します。</p>
<p><b>株式会社Epigeneron</b></p> <p><a href="http://epigeneron.com/">http://epigeneron.com/</a></p>	<p>株式会社Epigeneronは、2015年4月に創業したバイオベンチャーで、DNA結合蛋白質やRNA等の結合を保持したまま任意のゲノム領域を単離できる技術である「遺伝子座特異的クロマチン免疫沈降法」を利用して、遺伝子発現制御やエピジェネティック制御の異常によって引き起こされる難治疾患の創薬標的の同定サービスを提供しているほか、自社での創業を進めています。</p>
<p><b>株式会社キャンバス</b></p> <p><a href="http://www.canbas.co.jp/">http://www.canbas.co.jp/</a></p>	<p>キャンバスは抗癌剤の基礎研究から早期臨床開発までを行う東証マザーズ上場企業です。</p> <p>自社創出の非天然ペプチドCBP501、低分子化合物CBS9106 (SL801)は米国で臨床試験中です。他に前臨床試験入り間近の自社創出2つとファルマバレーとの共同によるIDO/TDOプロジェクトを有すると共に、富士フイルム社と共同で免疫系抗癌剤創出に取り組んでいます。</p> <p>導出先または共同開発パートナーを求めています。</p>
<p><b>株式会社バイオセレントック</b></p> <p><a href="http://www.bioserentach.co.jp/">http://www.bioserentach.co.jp/</a></p>	<p>株式会社バイオセレントックは、DDS用の新規の微粒子製剤を医薬品開発に応用するサービスを提供。</p> <p>具体的には、消化管粘膜付着性製剤GI-MAPS(経口剤)、溶解性マイクロニードル製剤(貼付剤)、長期徐放性製剤(注射剤)などを提供。ペプチド、蛋白、核酸、ワクチン、ホルモン、低吸収性有機化合物などの薬物のバイオアベイラビリティを改善。</p> <p>これまで、欧米および国内製薬会社などへのサービス提供の実績がある。</p>
<p><b>株式会社SEEDSUPPLY</b></p> <p><a href="http://seedsupply.co.jp/">http://seedsupply.co.jp/</a></p>	<p>(株)SEEDSUPPLYは、武田薬品からスピニアウトした企業であり、独自開発した化合物結合スクリーニング技術を用いて低分子創薬に革新を与えます。</p> <p>当社の技術を用いれば、従来は手が出せなかった未開拓の標的も含めて、あらゆる創薬標的のタンパク質を対象にスクリーニングを実施できます。これら未開拓の標的からのリード化合物はファーストインクラスの医薬品に繋がると考えます。このスクリーニングには、武田薬品の化合物ライブラリを利用します。</p>
<p><b>株式会社セツロテック</b></p> <p><a href="http://www.setsurotech.com/">http://www.setsurotech.com/</a></p>	<p>(株)セツロテックは、2017年2月に創業した徳島大学発のバイオベンチャーです。</p> <p>事業内容は、ゲノム編集受託サービスによる創薬支援事業です。マウスやブタなどの哺乳類の受精卵に対する高効率ゲノム編集技術が特徴で、オーダーメイドのノックアウトマウス、ノックインマウスなどのゲノム編集動物や、ゲノム編集培養細胞などをご提供しています。サービス提供先や共同研究先、事業提携先を募集しています。</p>



## プレゼンテーション2

<b>株式会社Epsilon Molecular Engineering</b> <a href="http://www.epsilon-mol.co.jp/">http://www.epsilon-mol.co.jp/</a>	株式会社Epsilon Molecular Engineeringは抗体の代替となる次世代抗体やペプチドアプタマーの社会実装を目指します。次世代抗体やペプチドアプタマーは抗体に比べ熱安定性に優れ、ナノテクノロジーとの相性にも優れています。バイオ医薬品開発に加え従来の抗体を用いた診断薬等に関しても品質向上とコストダウンの観点から貢献します。すでに複数の高品質の次世代抗体・ペプチドアプタマーの受託事業で実績があります。
<b>エルピクセル株式会社</b> <a href="https://lpixel.net/">https://lpixel.net/</a>	エルピクセル株式会社は、医療・製薬・農業などのライフサイエンス研究領域の画像解析ソフトウェア・システムの研究開発に強みを持つ東京大学発ベンチャー企業です。 2014年3月に設立し、2000年の研究室の発足当以来、生物学全般における画像解析技術を牽引。ライフサイエンス領域の知識と、イメージングの技術の双方の領域に精通している研究者集団です。 AIを活用した画像解析プラットフォーム「IMACEL」の開発などに注力しております。
<b>エディットフォース株式会社</b> <a href="https://www.editforce.jp/">https://www.editforce.jp/</a>	RNA操作ツールを独自技術として特許取得しております。 この技術基盤は、ゲノムのみならず今まで他のゲノム編集ツールでは難しいとされていた、下流のRNAの操作が可能な点が特徴としてあげられ、医療・物質生産・農業などの広範囲にわたる生物・産業に適用可能な技術です。ただし、本技術はあらゆる生命現象を操作するための基盤技術であり、その先にあるものは、各アライアンス先の個別事業によって幾多でもカスタマイズが可能で柔軟な対応が可能な技術です。 本ピッチでは、本技術の要素や応用可能な例について紹介させていただきます。
<b>アメリエフ株式会社</b> <a href="http://amelieff.jp/">http://amelieff.jp/</a>	あらゆる生命情報の分析と解釈を専門とする生命情報統合解析のリーディングカンパニーとして、最先端医療システムや、バイオ研究のビッグデータ解析プラットフォームを提供しています。 がん細胞を遺伝子レベルでプロファイリングし、治療方針の決定を支援する医師向けの情報システムを開発し、臨床現場での運用を開始しています。今後、医療・創薬のみならず、食品・農林・水産分野へと広く展開し、新たな情報革命を目指します。
<b>グライコバイオマーカー・リーディング・イノベーション株式会社</b> <a href="http://www.gl-i.co.jp/">http://www.gl-i.co.jp/</a>	当社は、産総研・糖鎖研究センターの10年以上の研究成果の賜物である「糖タンパク質解析プラットフォーム技術」を用い起業したベンチャー企業です。 病気により変化する糖鎖を調べ、病気の早期診断や罹患後の予後予測を行う新たな臨床検査技術を開発します。糖鎖は細胞の表面や、ほとんどのタンパク質の表面に存在し、細胞の状態(病気が健康かなど)により糖鎖自身も変化するという特性を持っていますので、健康(or 病気の)状態を糖鎖で簡単に調べることが出来ます。将来は臨床検査薬のみならず糖鎖創薬も展開する企業を目指します。

## プレゼンテーション3

<b>ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社/HMTバイオメディカル株式会社</b> <a href="https://humanmetabolome.com/">https://humanmetabolome.com/</a>	ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社は、独自のメタボローム解析技術をコアとし、代謝物の解析および発見したバイオマーカーの検査薬開発をビジネスの柱としています。 現在、子会社(HMTバイオメディカル株式会社)にて大うつ病性障害のバイオマーカーを用いた検査法の開発に注力しており、体外診断用医薬品として上市することを目論んでいます。
<b>株式会社オーダーメイドメディカルリサーチ</b> <a href="http://www.omr.co.jp/">http://www.omr.co.jp/</a>	OMRは難治疾患の独創的な治療法・治療薬の開発のために作られた会社です。 ・癌治療のための抗体医薬の開発を行うこと ・あらゆる膜タンパク質に対する抗体作製が可能です。 ・これらに加えて、核酸医薬・遺伝子治療での破壊的イノベーションを生み出すことを目標にしています。
<b>株式会社ライトニクス</b> <a href="http://www.lightnix.jp/">http://www.lightnix.jp/</a>	株式会社ライトニクスは天然由来の技術と素材から安心安全な医療機器を創出。通常のプラスチック成型メーカーには無い、独自のポリ乳酸設計技術を持ち、すでに糖尿病向けランセットを上市。 血液を吸い上げる針、薬剤を体内に投与する針、そして針一体型投薬デバイスまで製品レベルを引き上げる事により、誰もが何処でも医療を受けられる世界を創出します。
<b>サスメド株式会社</b> <a href="http://susmed.co.jp/">http://susmed.co.jp/</a>	サスメド株式会社は、不眠症治療アプリケーション(医療機器)を軸にしたデジタル医療をサービスとして提供。さらに国内2施設における臨床試験の経験を元に、AI、ブロックチェーンを用いて人件費を抑えた低コストなデジタル臨床開発システムを開発してきた。 これまで3年間に渡るNEDOの支援を受け、2018年より不眠症治療アプリケーションの治験を開始予定。未来2017において健康経営賞受賞。